

広島市高取北・安西 地域包括支援センターニュース

回覧



当センターは、地域の皆様が安心して生活できるよう支援する総合相談窓口です。介護、医療、福祉など様々な面から総合的に支える地域の中核機関として、広島市が社会福祉法人等に委託をして設置しています。専門職が連携をとって支援します。秘密は守ります。お電話でも結構です。相談は無料ですのでお気軽にご利用ください。

「一緒に考えてみませんか？ 10年後の暮らし」

誰にでもやがて訪れる“高齢期”。元気で長生きを願い、病気や加齢と向き合いながらの暮らしとなります。たとえ介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して生活したいですね。

そんな生活（地域包括ケアシステム）を実現するために、私たち一人ひとりにできることは何でしょうか？自分らしい生き方を実現するためには、これから何が必要になるのでしょうか？

私たち地域包括支援センターも、地域包括ケアシステムの実現に向け取り組んでいます。

～地域包括ケアシステムへのとくみ～

民生・児童委員と医療福祉関係者との合同意見交換会を開催

平成28年7月27日（水） 高取北中学校区、安西中学校区の民生委員・児童委員、主任児童委員と同中学校区に事業所のある9つの居宅介護支援事業所のケアマネジャー、近隣病院の相談室から医療ソーシャルワーカー、薬局薬剤師の方、総勢70名を超える方々が参加され、合同勉強会・意見交換会を行いました。

－ 当日の流れ －

講義：①かかりつけ薬局について

薬剤師 佐々木逸太郎さん

講義：②地域包括ケア推進のために～病院のしくみと課題～

医療ソーシャルワーカー 山地恭子さん

グループワーク：一人暮らしの高齢者の支援について



－ 参加者の声 －

〇様々な事例や対応など話を聞くことができ、高齢者支援について理解を深めることができた。
（民生委員）

〇日頃の活動やご苦労は今回の限られた時間では語りつくせないものと思いますが、民生委員の方々から生の声をお聞きすることができ、とても有意義な時間でした。

（医療ソーシャルワーカー）

〇民生委員さんや病院相談員さん、薬剤師さんと顔の見える関係ができ連携が取りやすくなったと思います。
（ケアマネジャー）



＊一部抜粋

お一人暮らしの高齢者の方にお聞きました。



日頃の生活で気をつけていることは何ですか？

塩分を控えめに、1日3食しっかり食べることじゃね。たまには惣菜や弁当を買うけど、自分で作ったものが一番口に合うし、料理は頭の体操になるしね。たまに近所の人がおかずを差し入れてくれることもあるんよ。私もお返しに料理をもっていくこともあるけどね。子供も自分らの生活があるし、遠くに住んでいるからね。何かあった時に頼れるのはやっぱり近所の人かねえ。近所付き合いは大事じゃと思うとるよ。お互い助け合わんとねえ。



住民同士だからできること

～あなたの地域にはいくつ支え合いがありますか？～

- ☐ お互いの顔や名前がわかり、あいさつをしあう習慣がある
- ☐ 見守り活動の必要性を理解し、ゆるやかな声かけをしている
- ☐ ボランティア活動や、生活支援サービスがある
- ☐ 困った時に相談できる所がある
- ☐ 近隣住民が集まり、交流のできる地域の居場所がある
- ☐ 住民同士が学びあい、語り合える機会がある
- ☐ お互いのプライバシーを大切にし、信頼関係がある

地域フリースペース いとうさん家

囲碁や将棋を楽しみたい方募集！

『気軽に囲碁や将棋を指すところがあればいいのにな』との声を頂戴しました。

いとうさん家を活用してみてもいいでしょうか？

利用料は無料です。

興味のある方は、まずは下記にお問い合わせください。



いとうさん家は、地域交流の場として持ち家を開放したフリースペースです。

広島市高取北・安西地域包括支援センター

出前講座・出張相談・体操教室・認知症サポーター養成講座など、どこにでも出かけていきます。お気軽にご相談ください。

電話：878-9401 住所：高取北一丁目17番41号

センター長 相本 / 社会福祉士 奥村・竹内・松田 / 看護師 久保田
主任介護支援専門員 杉原・山口 / 保健師 伊東・松浦 / 介護支援専門員 滝口

